

策 定 方 針

【現在の取組】

- ・対策促進地区や浅い幹線の流域などの重点地区等で時間50ミリの施設整備を推進
- ・浸水被害の影響が大きい大規模地下街9地区に限定して時間75ミリの降雨に対応

【平成25年の浸水被害】

- ・集中豪雨や台風で都内で700棟を超える甚大な浸水被害が生じたことから、雨水整備水準のレベルアップを含めたプランを検討

【緊急プランの策定】

- ・地形や河川整備状況、被害規模などを踏まえ、優先度を考慮しつつ、時間75ミリの降雨に対応する施設整備も含めた緊急プランを策定

3 つ の 取 組 方 針

一定規模以上の床上浸水が集中して発生した地域では、**時間75ミリの降雨**に対応できる施設を建設

既に施設整備を計画している地域のうち、今年被害が生じた地域では、時間50ミリを超える降雨に対しても被害を軽減

被害箇所が点在し浸水棟数が少ないなど被害が比較的小規模な地域では、区等と連携し対策を早期に実施

対 策 地 区 と 取 組 内 容

「75ミリ対策地区」

目黒区上目黒、世田谷区弦巻地区など
4地区

流出解析シミュレーションを活用し、既存施設の下に**時間75ミリ対応の新たな対策幹線**の整備など

「50ミリ拡充対策地区」

品川区戸越、西品川地区など**6地区**

施設整備の前倒しや、周辺の既存貯留施設の活用など可能な対策を組み合わせた**新たな施設の整備**など

「小規模緊急対策地区」

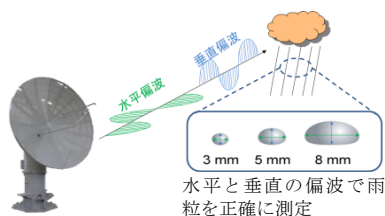
杉並区善福寺地区など**6地区**

バイパス管の設置や区と連携した雨水ますの増設、グレーチング蓋への取替えなど、現場状況に応じた**対策**

「ソフト対策」により自助・共助の取組を支援

- 東京アメッシュの精度向上、幹線水位など**情報提供**を充実
- 浸水対策強化月間の取組やツイッターでの**情報発信**などお客さまの自助・共助を支援

取組メニュー例



最新レーダーの導入



下水道局ツイッター

